suiteDXT

使用説明書

NeoSoft, LLC



NS-03-042-0008 改訂1 Copyright 2021 NeoSoft, LLC 無断複写・複製・転載禁止



改訂版	改訂日	変更内容	安全関連の更新 (はい/いいえ)
1	2021年6月24日	5.0.3 製品リリース向けに更新。	いいえ



NeoSoft, LLC N27 W23910A Paul Road Pewaukee, WI 53072 USA

電話: 262-522-6120 Website: www.neosoftllc.com

営業: orders@neosoftmedical.com サービス: service@neosoftmedical.com

本機器の使用説明書は、PDF形式で電子的に提供されます。使用説明書を表示するには、PDFビューアが必要です。ご要望があれば、使用説明書の書面コピーを無料で7暦日以内にお送りします。service@neosoftmedical.com までメールでご連絡ください。

使用説明書は以下の方法でアクセスできます。

- 1. アプリケーションの起動後、メイン画面で [Help (ヘルプ)] または [About (概要)] をクリックします。 [Instructions for Use (使用説明書)] オプションを選択します。PDF ビューアで使用説明書が開きます。
- NeoSoft から受領したオリジナルのインストールパッケージがある場合は、zip ファイルを開き、[Documentation (ドキュメント)] フォルダ、[Instructions for Use (使用説明書)] フォルダの順に進みます。お使いになっている 言語の Instructions for Use.pdf をダブルクリックしてください。言語の表記は以下のとおりです。
 EN - 英語、FR - フランス語、DE - ドイツ語、EL - ギリシャ語、IT - イタリア語、LT - リトアニア語、ES - スペイン 語、SV - スウェーデン語、TR - トルコ語、RO - ルーマニア語、NL - オランダ語、ZH_CN - 簡体字中国語、 PT-PT - ポルトガル語、HU - ハンガリー語、JA - 日本語、VI - ベトナム語。
- アプリケーションがインストールされているフォルダーに移動します。[Documentation (ドキュメント)] フォルダ を見つけ、[Instructions for Use (使用説明書)] フォルダーを開き、お使いになっている言語で Instructions for Use.pdf をダブルクリックします。言語の表記は以下の通りです。EN - 英語、FR - フランス語、DE - ドイツ語、 EL - ギリシャ語、IT - イタリア語、LT - リトアニア語、ES - スペイン語、SV - スウェーデン語、TR - トルコ語、 RO - ルーマニア語、NL - オランダ語、ZH_CN - 簡体字中国語、PT-PT - ポルトガル語、HU - ハンガリー語、 JA - 日本語、VI - ベトナム語。
- 4. 使用説明書の電子版もご利用いただけます (www.neosoftllc.com/neosoft/product_manuals/)。 15 years from last date of manufacture.

医療機器規則

この製品は医療機器に関する医療機器規則(EU) 2017/745 に準拠しており、そのことを示すCEマーク(CE Mark of Conformity)が貼付されています。





この製品は医療機器です:

ヨーロッパ正規取扱店: EMERGO EUROPE Prinsessegracht 20 2514 AP The Hague The Netherlands

スイス認定販売代理店および輸入業者:

MedEnvoy Switzerland Gotthardstrasse 28 6300 Zug Switzerland

EU 輸入業者:

MedEnvoy Global B.V. Pr.Margrietplantsoen 33, Suite 123, 2595 AM The Hauge The Netherlands

マレーシア認定販売代理店:

Emergo Malaysia Sdn.Bhd. Level 16, 1 Sentral Jalan Stesen Sentral 5 KL Sentral, 50470 Kuala Lumpur MALAYSIA

マレーシア医療機器登録番号: GB10979720-50888

カナダ: カナダ保健省機器ライセンス番号: 99490



本機器に関連して発生した深刻なインシデントすべては、NeoSoft およびお住まいの加盟国の管轄庁に 報告する必要があります。

目次

医療機器規則i

安全性について 1 はじめに 1 使用目的 1 適応 1 サポートされている DICOM 画像形式 1 用語 2 装置・機器の危害要因 2 はじめに 3 メイン画面の機能 3 スタディペインの右マウスクリックメニュー 4 シリーズペインの右マウスクリックメニュー 4 問合せ/検索ウィンドウ 5 問合せ/検索ペインの右マウスクリックメニュー 6 シリーズペインの右マウスクリックメニュー 6 suiteDXTの使用 7 アプリケーションの起動 7 リモートホストからスタディまたはシリーズを検索 8 フィルタの作成 9 リモートホストにスタディを送信 9 リモートホストにシリーズを送信 10 スタディペインのインジケータ 10 NeoSoft DICOM ファイルの送信 11 スタディのインポート 11 スタディのエクスポート 11 検索の実行 12 フォルダの作成 13 スタディの匿名化 14 削除保護 14 スタディの削除 15 シリーズの削除 15 セカンダリキャプチャシリーズの削除 15 suiteDXTの概要 16

スタディの前処理 17 *前処理の構成* 17 *前処理の使用* 18 スタディペインのインジケータ 19 Virtual Fellow[®] **20** *Virtual Fellow[®] のオン/オフ* **20** *画像プレビューウィンドウ* **21**

サービスとサポート 22 DICOM ネットワーク機能不全 22 スタディ起動エラー 23 サービスの再起動 24 お問い合わせ 24

安全性について

はじめに

効率的かつ安全にご使用いただくために、本ソフトウェアをご使用になる前に必ずこの安全性に関するセク ションおよび関連するトピックをすべて読んでください。この製品をご使用になる前に、必ず本書の内容をよ く読んで理解してください。また、手順と安全に関する注意事項は定期的に確認してください。

このソフトウェアは、トレーニングを受け、資格を持つ担当者だけが操作することを前提としています。 suiteDXT ソフトウェアの予想耐用期間は、最初のリリース日から7年です。

使用目的

suiteDXTは、ユーザーがDICOMネットワーク通信の管理、サポートされているDICOM画像の格納、サポートされているDICOM画像のローカルファイルシステムからのインポート、スタディの匿名化、関連のある画像アプリケーションの起動を実行できるよう意図されています。このソフトウェアは、一時的なストレージ場所として設計されています。

適応

suiteDXT は、ユーザーが DICOM 画像をインポート、エクスポート、匿名化して、関連のある画像アプリケー ションを起動できるよう意図されています。この製品には、診断用の医療機能または目的はありません。

サポートされている DICOM 画像形式

suiteDXT は、MR および拡張 MR の DICOM 形式をサポートしています。

注: suiteDXT は JPEG ロスレス圧縮をサポートしますが、この形式のサブセットはサポートされていません。 サポートされている形式の詳細については、suiteDXT DICOM 適合声明書マニュアルを参照してください。

用語

本取扱説明書では、危険、警告、注意の用語で危険を指摘し、危害の程度やレベルを示しています。危険は、 人が負傷する可能性をもたらすものと定義されます。次の表に記載された用語の説明をよく理解しておいてく ださい。

表1: 安全性に関する用語

マーク	定義
▲ 危険:	「危険」は、説明どおりに操作を行わなかった場合に、人体への重大な傷害、死 亡、または建物や機器の破損を <u>引き起こす</u> 特定の危険要因が確認されている状況 やアクションを表すために使用されます。
▲ 警告:	「警告」は、説明どおりに操作を行わなかった場合に、人体への重大な傷害、死 亡、または建物や機器の破損を <u>引き起こす可能性のある</u> 特定の危険要因が確認さ れている状況やアクションを表すために使用されます。
入 注意:	「注意」は、説明どおりに操作を行わなかった場合に、人体への軽度の傷害、また は建物や機器などの軽度の破損を <u>引き起こすことがある</u> 危険要因が潜在する状況 やアクションを表すために使用されます。

装置・機器の危害要因



注意:損傷したり、何らかの欠陥がある機器を使用すると、診断の遅延により患者がリスクにさらさ れる可能性があります。装置が適切に運転できる状態であることを必ず確認してください。



注意:アプリケーション、ひとつまたは複数のハードディスクを有する装置上で動作します。ハード ディスクには患者の健康に関する情報が保存されている場合があります。国によっては、個 人情報の処理および配布に関する法律によって、そのような装置は規制の対象になる場合が あります。個人データの開示は、該当する監督官庁によって、法的措置が取られる場合があ ります。患者ファイルへのアクセスは必ず保護してください。ユーザーには、患者情報を規 制する法律を理解しておく責任があります。

はじめに

メイン画面の機能

図 1. メイン画面

Patient Name	▼ Patient ID	Study Date	Transferred To	Delete Protected	Accession	Study ID	Referring P
Q ð							
# FX Flow MDE T1 Philips	ANONYMOUS_20190422T15	0604_ID 12/4/2017 2/2	644 PM 😑 CLINICALRACS	No		ANONYMIZED	
# T1/T2 Mapping Demo S	0.2, 2020 ANONYMOUS_20200924T15	4035_JD 8/1/2017 7:43	11 AM	No			
#Amyloid TI Mapping	ANONYMOUS_20200702115	5040_ID 5/31/2017 8.3	641 AM	No		ANONYMIZED	
#Case 31	ANONYMOUS_20200702109	0158_ID 6/21/2017 1:3	541 PM	No		ANONYMIZED	
Cases (10)							
#Infarct/M/O T1 Mappin	g, 202010 ANONYMOUS_20201002T17	1321_ID 8/1/2017 7:43	11 AM	No			
#Myocarditis TI Mapping	ANONYMOUS_20200702T11	4314_ID 1/8/2020 9:17	S8 AM	No		ANONYMIZED	
FNormal	ANONYMOUS_20190430107	4604_ID 4/18/2019 9-5	652 AM	No		ANONYMIZED	
#Normal TIMapping	ANONYMOUS_20200702T15	1328_ID 1/23/2020 10:	0.01 AM	No		ANONYMIZED	
Fileatime Siemens, 20190	425T173924 ANONYMOUS_20190425T17	3924_ID 1/28/2015 11:	9:35 PM 15	No		ANONYMIZED	
#STR/REST, 20180702T111	453 ANONYMOUS_20180702T11	1953_ID 7/18/2014 10:	6:14 AM	No	ANONYMIZED	ANONYMIZED	
Workshop Cases 202	J (61)						
*Q FLOW	JM	4/27/2017 1:1	LOS PM	No		538488785	
<	CONTRACT ALCOUNT OF ALCOUNT OF	101/07/640		- No.		454040340210	
Series # * Images De	scription	Modality Man	dacturer	Transferred 1	lo Transferrez	i Date	
1 22 3P	ane Loc Fiesta	MR GEN	EDICAL SYSTEMS	1000 CONTRACTOR	ere entrettere	10.975 Feb	
2 18 Sa	FIESTA	MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
3 29 As	FIESTA	MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
4 20 LA	Loc	MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
5 20 Ac	Root Loc	MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
6 20 Ao	Root Loc	MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
	Loc	MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
7 20 PA	Reot	MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
7 20 PA 8 20 Ao		MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
7 20 PA 8 20 Ao 9 20 LA	e Loc						
7 20 PA 8 20 Ao 9 20 LA 10 20 Ao	s Loc (BCT) Loc	MR GEN	EDICAL SYSTEMS				
7 20 PA 8 20 Ao 9 20 LA 10 20 Ao 11 20 LA	e Loc (BCT) Loc : Loc	MR GEN MR <u>G</u> EN	EDICAL SYSTEMS EDICAL SYSTEMS				

- Launch Application (アプリケーション起動) プルダウンメニュー 構成済みのアプリケーションが列記 されます。
- 2. Launch (起動) 構成済みの NeoSoft, LLC アプリケーションを起動します。
- 3. Study Filter (スタディフィルタ) スタディリストでスタディを表示する日付範囲を定義します。
- 4. Refresh (更新) ユーザーの選択した基準に基づいてビューを更新します。
- 5. Configuration (構成) 構成ウィンドウを開きます。
- 6. About (概要) suiteDXT ソフトウェアのバージョンや説明書へのリンクを表示します。DICOM 適合声明書 およびアーカイブログファイル (サポート用)。
- 7. Studies Headline (スタディ見出し) ローカルホストに格納されているスタディ数を表示します。
- 8. Search Field (検索フィールド)-並べ替えあり、または並べ替えなしで列を自動的に検索します。
- 9. Find (検索) [Query/Retrieve (問合せ/検索)] ウィンドウが開きます。
- 10. Send (送信) ローカルスタディをリモートホストにプッシュします。
- 11. Import (インポート) スタディ情報をファイルシステム、CD、DVD、または USB メディアからインポート できます。
- 12. Anonymize (匿名化) 患者固有のデータを削除して新しいスタディを作成します。
- 13. Delete (削除) suiteDXT スタディリストからスタディを削除し、ローカルホストから DICOM データを削除します。
- 14. New Folder (新しいフォルダー) スタディを整理できるようにフォルダーを作成します。
- 15. Study (スタディ)ペイン ローカルホストに格納されているスタディの情報が表示されます。
 - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。また、列のタイトルをクリックすると並べ替えられます。

- 16. Series Headline (シリーズ見出し) 選択したスタディのシリーズ数を表示します。
- 17. Series (シリーズ)ペイン 選択したスタディのシリーズ情報を表示します。
 - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。また、列のタイトルをクリックすると並べ替えられます。
- 18. Send (送信) ローカルシリーズをリモートホストにプッシュします。
- 19. Delete (削除) 選択したスタディからシリーズを削除し、DICOM データを削除します。
- 20. Show Preview (プレビューの表示) suiteHEART Virtual Fellow[®]、CAS シネ、CAS レポートシリーズのプレ ビューを表示します。
- 21. Disk Usage Indicator (ディスク使用率インジケータ) 画像データの合計ローカルディスク使用領域を パーセンテージで示します。
- 22. Preprocessing Status (前処理のステータス) 前処理の現在の構成ステータス (オン/オフ) を示しす。
- 23. Virtual Fellow[®] Status Indicator (Virtual Fellow[®] ステータスインジケータ) Virtual Fellow[®] の現在の 構成ステータス (オン/オフ) を示します。
- 24. Network Status (ネットワークのステータス) suiteDXT が現在、DICOM データをネットワーク上で転送しているかどうかを示します。

スタディペインの右マウスクリックメニュー

図 2. 右マウスクリックメニュー

Send Study Export Study	>	Scan 1 Cardiac
Preprocess	>	All
Delete Protect		Function
Set Origin		Flow
Unlock		Myocardial Evaluation
Delete		T1 Mapping
Move to Folder		T2 Mapping
Open Study Location		Remove from Preprocessing (

- Send Study (スタディの送信) スタディをローカルホストからリモートホストにプッシュします。NeoSoft DICOM シリーズのみを送信するよう構成できます。 (インストールマニュアルを参照)
- Export Study (スタディのエクスポート) 選択したスタディグループのスタディデータを圧縮 .zip ファイル に保存します。
- Preprocess (前処理) 構成されたシリーズすべて、または機能、血流、心筋評価 T1 マッピングおよび T2 マッ ピングのみを前処理します。キューからスタディを削除するには、[Remove from Preprocessing Queue (前処理キューから削除)] を選択します。
- Delete Protect (プロテクトの削除) スタディのプロテクト削除を設定します (はい/いいえ)。
- Set Origin (起源の設定) ネットワーク管理者がアクセス管理向けに AE タイトルを設定するために使用します。
- Unlock (ロック解除) ロックをリセットし、システムクラッシュ後にロックされたスタディを開きます。
- Delete (削除) suiteDXT スタディリストからスタディを削除し、ローカルホストから DICOM データを削除し ます。
- Move to Folder (フォルダに移動) 作成したフォルダにスタディを動かします。
- Open Study Location (スタディの場所を開く) ローカルファイルシステムで DICOM データの場所を示します。
- 注: 前処理は NeoSoft CAKE[™] アプリケーションには適用されません。

シリーズペインの右マウスクリックメニュー

- Send (送信) ローカルシリーズをリモートホストにプッシュします。
- Send Delete Details Configure Preprocess
- Delete (削除) 選択したスタディからシリーズを削除し、DICOM データを削除します。
 Details (詳細) シリーズの詳細ウィンドウが開きます。
- Configure Preprocess (前処理の構成) 機能、血流、心筋評価、T1 マッピングおよびT2 マッピン グシリーズのシリーズ名を自動入力します。

注: 前処理の構成は NeoSoft CAKE™ アプリケーションには適用されません。

問合せ/検索ウィンドウ

図 3. 問合せ/検索ウィンドウ

Query Filter							
Patient Last Name: sh		Study ID:		2 Query			
Patient First Name:		ccession Number:					П
Defined ID:		Madatan MD	3 Query Source	CLINICALPACS	~		
Patient ID:		modality: MR		-	=		
Date: All	~			4 Save Filter			
Query Results: 49 Matches Found	5						
7	Patient Name	▼ Patient ID	Study Description	Accession	Study Date	Study ID	Mod ^
Retneve	SH Case 05	AW2066758685.410	No Value Returned	No Value Retur	7/29/2014 10:17:37 AM	MR20140006403	MR
0	SH Case 01	AW1160355509.192	No Value Returned	No Value Retur	4/29/2014 12:18:01 PM	7436	MR
Retrieve and Preprocess	SH Case 02	AW1696004290.551	No Value Returned	No Value Retur	1/7/2011 8:40:42 AM	17610	MR
	SH Case 03	AW1523419194.749	No Value Returned	No Value Retur	5/20/2013 10:25:55 AM	2870	MR
9 Clear Query Results	SH Case 04	AW1148450914.118	No Value Returned	No Value Retur	12/16/2013 10:28:28 AM	MCARD	MR
	<					1110184 4370	
	Series: 28						
11	Series # 👻 Imag	es Description		Modality Ma	nufacturer	1	^
Retrieve	1 1 No V	alue 3-pl Loc Fiesta		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
	2 No V	alue calibration ASSET		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
	3 No V	alue Ax Loc		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
	4 No V	alue LAx Loc		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
	5 No V	alue Ao Loc		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
	6 No V	alue PA Root		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		~
- Retrieve Results							
10	Patient Name	10 T Patient ID	Accession	Status	Progress	Details	
13 Cancel	SH Case 02	1Z AW1696004	290.551	Complete	Trogress	1107 To	tal. 1107 Succe
14 Clear Retrieve Results							
	<						>

- Query Filter (問合せフィルタ) 患者の名、姓、患者 ID、スタディ ID、登録番号、日付で具体的なスタ ディを検索するために使用できます。* (アスタリスク) は任意のフィールドでワイルドカードとして使 用できます (日付以外)。
- Query (問合せ) リモートデバイスの問合せを実行します。あらゆるフィールドを空白のままにすると、 問合せであらゆる結果が返されます。
- 3. Query Source (問合せソース) プルダウンメニュー 問合せ/検索で使用できる構成済みのリモートデバ イスを表示します。
- 4. Save Filter (フィルタの保存) デフォルトの問合せパラメータを設定します。
- 5. Query Results (問合せ結果) 問合せ基準に一致するスタディ数を示します。

- 6. Query Results (問合せ結果)ペイン 問合せのあったリモートデバイスのスタディ情報を表示します。
 - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。また、列のタイトルをクリックすると並べ替えられます。
- 7. Retrieve (検索) リモートデバイスから選択したスタディの検索を実行します。
- 8. Retrieve and Preprocess (検索と前処理) リモートデバイスから選択したスタディの検索と前処理を実 行します。
- 9. Clear Query Results (問合せ結果のクリア) スタディペインで問合せの結果をクリアします。
- 10. Series (シリーズ)ペイン スタディペインでハイライトされたスタディのシリーズ情報を表示します。
 - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。また、列のタイトルをクリックすると並べ替えられます。
- 11. Retrieve (検索) リモートデバイスから選択したシリーズの検索を行います。
- 12. Transfer Status (転送ステータス) ペイン 現在の検索と完了した検索を表示します。
 - 列のタイトルは、クリックしてドラッグすると順序を変更できます。
- 13. Cancel (キャンセル) 転送を停止します。
- 14. Clear Retrieve Results (検索結果をクリア) 転送が完了したスタディの転送ペインで転送アクティビ ティをクリアします。



注意:転送した画像はローカルのまま残り、suiteDXTメイン画面で表示されます。ただし、スタ ディの画像がすべて転送されていない可能性があります。

問合せ/結果ペインの右マウスクリックメニュー

図 4. 右マウスクリックメニュー

Retrieve Retrieve and Preprocess

- Retrieve (検索) リモートホストからスタディを検索します。
- Retrieve and Preprocess (検索と前処理) リモートホストから選択したスタディの検索と前処理を実行します。

シリーズペインの右マウスクリックメニュー

図 5. 右マウスクリックメニュー Retrieve

• Retrieve (検索) - リモートホストからシリーズの検索を実行します。

suiteDXT の使用

アプリケーションの起動

アプリケーションは、インストールマニュアルの手順に従うと追加できます。

- 1. メイン画面に移動します。
- 2. [Launch Application (アプリケーションの起動)] ドロップダウンメニューで、希望するアプリケーションを選択します。
 - 図 1. アプリケーションの起動



- 3. スタディリストからスタディを選択して以下のいずれかを行います。
 - [Launch (起動)] を選択します。
 - スタディをダブルクリックます。

リモートホストからスタディまたはシリーズを検索

リモートホストはすでにアクセス可能な状態に構成されていなくてはなりません。リモートホストの構成方法 については、インストールマニュアルを参照してください。

1. メイン画面で [Find (検索)] を選択します。

図 2. メイン画面の [検索]

Launch Application	Launch	Study Filter	Refresh	
	Patient Name	Study Date	Patient ID	Study Description
Find	Case 52, 20180921T142741	11/16/2017 10:52:28 AM	ANONYMOUS_20180	Cardiac
	Case 53, 20180921T151350	09/14/2017 11:14:55 AM	ANONYMOUS_20180	Cardiac
Send	Case 54, 20180921T160143	03/13/2017 10:01:08 AM	ANONYMOUS_20180	Cardiac
	Case 55, 20180923T135256	01/05/2006 4:35:13 PM	ANONYMOUS_20180	CARDIAC Pericardium
	Case 56, 20180923T160407	07/20/2015 1:29:12 PM	ANONYMOUS_20180	Cardiac
Import	Case 57, 20181106T135738	10/26/2018 10:29:40 AM	ANONYMOUS_20181	Cardiac

[Query/Retrieve (問合せ/検索)] ウィンドウの [Query Filter (問合せフィルタ)] エリアでスタディ情報基準を入力します。

以下のようなフィルタオプションがあります。

- Patient Last Name (患者の姓)
- Patient First Name (患者の名)
- Patient ID (患者 ID)
- Study ID (スタディ ID)
- Accession Number (登録番号)
- Date Range (日付範囲)

図 3. 問合せ/検索ウィンドウ

Query Filter							3
Patient Last Name: sh		Study ID:		Query			
Patient First Name:	Access	on Number:					
Patient ID:		Modality: MR	Query Source	CLINICALPACS	×		
		Producty: Par			_		
Date: All	~			Save Filter			
Query Results: 49 Matches Found	22-34 00-34	100 K. 190					
	Patient Name	▼ Patient ID	Study Description	Accession	Study Date	Study ID	Mod ^
Retheve	SH Case 05	AW2066758685.410	No Value Returned	No Value Retur	7/29/2014 10:17:37 AM	MR20140006403	MR
	SH Case 01	AW1160355509.192	No Value Returned	No Value Retur	4/29/2014 12:18:01 PM	7436	MR
Retrieve and Preprocess	SH Case 02	AW1696004290.551	No Value Returned	No Value Retur	1/7/2011 8:40:42 AM	17610	MR
	SH Case 03	AW1523419194.749	No Value Returned	No Value Retur	5/20/2013 10:25:55 AM	2870	MR
Clear Query Results	SH Case 04	AW1148450914.118	No Value Returned	No Value Retur	12/16/2013 10:28:28 AM	MCARD	MR
Cital Gao / House	<					110100 1000	>
	Series: 28						
1000000	Series # V Images	Description		Modality M	anufacturer	1	^
Retrieve	1 No Value	3-pl Loc Fiesta		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
-	2 No Value	calibration ASSET		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
	3 No Value	Ax Loc		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
	4 No Value	LAx Loc		MR GE	MEDICAL SYSTEMS	100 C	
	5 No Value	Ao Loc		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		
	6 No Value	PA Root		MR GE	MEDICAL SYSTEMS		~
- Datrieve Dec dts	NA STREET				T TROWNER AND INCOME.		
Reviere Results	Defect Name	= Patient ID		1 Carton	1.0	L Datalla	
Cancel	Patient Name	Patient ID	Accession 00.651	Status	Progress	Details	1 1107 Sugge
	SH Case uz	AW 10900042		Complete		1107 100	a, nor succe
Clear Retrieve Results							

- 3. [Query Source (問合せソース)] プルダウンメニューで、リモートホストを選択します。
- 4. [Query (問合せ)]を選択します。

入力した基準に一致するスタディが、スタディリストに読み込まれます。

スタディをクリックすると、シリーズ情報リストにデータが読み込まれます。

- 5. 希望するスタディを選択します。
- 6. スタディリストの下で [Retrieve (検索)] を選択するか、ポップアップメニューを右クリックして [Retrieve (検索)] を選択します。
- 7. [Retrieve and Preprocess (検索して前処理)] を選択して前処理を行います。
- シリーズで検索するには、シリーズを選択してからシリーズリストの下で [Retrieve (検索)] をクリックします。

検索の進捗状況は、ウィンドウ最下部の [Retrieve Results (検索結果)] セクションに表示されます。メイン 画面の最下部で [No DICOM Network Activity (DICOM ネットワークアクティビティなし)] のステータスが [DICOM Network Active (DICOM ネットワーク有効)] に変わります。

注:スタディ全体が転送されないイベントの進捗状況インジケータは赤くなります。

フィルタの作成

毎回、同じ検索パラメータを使用できるようにフィルタを作成して保存することができます(日付範囲など)。使用する基準を入力します。複数のパラメータを入力できます。[Save Filter (フィルタの保存)]を選択 します。その後のあらゆる問合せで、保存されたフィルタが使用されます。新しいフィルタを作成するたび に、前のフィルタは上書きされます。

リモートホストにスタディを送信

リモートホストはすでにアクセス可能な状態に構成されていなくてはなりません。リモートホストの構成方法 については、

インストールマニュアルを参照してください。

注: suiteDXT は JPEG ロスレス圧縮をサポートしますが、この形式のサブセットはサポートされていません。

- 1. 送信するには、スタディをハイライトします。
- [Send (送信)] を選択するか、右クリックしてポップアップメニューから [Send Study (スタディの送信)]
 を選びます。
- 3. 送信先を選択します。
- 4. ポップアップウィンドウで [Send (送信)] を選択します。

[DICOM Send (DICOM 送信)] ウィンドウが表示され、転送の進捗状況を示します。このウィンドウは右上隅の X を使用すると閉じることができます。その間も転送は背景で実行されます。

[DICOM Send (DICOM 送信)] ウィンドウを閉じた後に進捗状況をチェックするには、[Send (送信)] を選択して から [Status (ステータス)] を選択します。

図 4. DICOM 送信ウィンドウ

Patient Name	Study Description Accession	Status	Progress	Details	Stu
#Case 31	Cardiac	In Progress		2743 Total, 1181 Success	6/2
<					>
			_		
			Car	cel Clear List	-

5. 転送に成功したスタディは、メインスタディリストの [Transferred To (転送済み)] 列に リモートホスト が表示されます。

図 5. 転送済み

Find	Patient Name 🔻	Patient ID	Study Date	Transferred To	Delete Protected Accession	Study ID	Referring Phys
	Q						
Send	# FX Flow MDE T1 Philips	ANONYMOUS_20190422T150604_ID	12/4/2017 2:28:44 PM	CLINICALPACS	No	ANONYMIZED	
	# T1/T2 Mapping Demo 5.0.2, 2020	ANONYMOUS_20200924T114035_ID	8/1/2017 7:43:11 AM		No		
	#Amyloid T1 Mapping	ANONYMOUS 20200702T155040 ID	5/31/2017 8:36:41 AM		No	ANONYMIZED	

リモートホストにシリーズを送信

- 1. スタディをハイライトします。
- 2. 必要なシリーズをハイライトします。
- 3. [Send (送信)] を選択するか、右クリックしてポップアップメニューから [Send (送信)] を選びます。
- 4. 送信先を選択します。
- 5. ポップアップウィンドウで [Send (送信)] を選択します。
- 6. 転送に成功したシリーズは、シリーズペインの [Transferred To (転送済み)] 列に リモートホストが表示 されます。

図 6. シリーズ転送ペイン

Bern		10.33							
Cond		Series # 🔻 Images		Description	Modali	ty Manufacturer	Transferred To	Transferred Date	
-	Send	101	50	Survey	MR	Philips Healthcare	CLINICALPACS	10/8/2020 12:52:32 PM	
	_	201	30	SSFP_AX	MR	Philips Healthcare	CLINICALPACS	10/8/2020 12:52:32 PM	
	Delete	301	30	BB_SSh_BH	MR	Philips Healthcare	CLINICALPACS	10/8/2020 12:52:32 PM	
		and the second							

スタディペインのインジケータ

インジケータ	ステータス
水色の円	画像の転送は未完了、または画像は複数のリモートホストに転送済み。
緑色の円	スタディのすべての画像が単一のリモートホストに転送済み。

NeoSoft DICOM ファイルの送信

ソフトウェアによって作成されたファイルは別個にネットワーク送信されます。構成についてはインストール マニュアルを参照してください。

- 1. スタディをハイライトします。
- 2. 右クリックして [Send NeoSoft DICOM (NeoSoft DICOM の送信)] を選択します。
- 3. DICOM の送信先を選択します。

Send NeoSoft DICOM	>
Export Study	
Preprocess	>
Delete Protect	

スタディのインポート

DICOMデータを含むスタディはローカルファイルシステム、マッピングされたドライブ、CD、DVD、USBからイ ンポートできます (圧縮されたフォルダも含まれます)。インポートしたい DICOM データが含まれているメ ディアを挿入した後、以下の手順に従ってください。

注: suiteDXT は JPEG ロスレス圧縮をサポートしますが、この形式のサブセットはサポートされていません。

- 1. メイン画面で [Import (インポート)] を選択します。
- 2. DICOM データが含まれている場所まで移動します。
- 3. [OK] を選択します。

[Import File Progress (ファイルのインポート進捗状況)] ウィンドウに DICOM ファイルのインポートのス テータスが表示されます。[Import Summary (インポートの要約)] に検出されたファイルの合計数、インポー トされたファイル、スタディカウント、スタディのインポート済み情報が表示されます。

新しくインポートされたスタディが suiteDXT のメイン画面のスタディリストに追加されます。

提供されたデータの例を suiteDXT にインポートできます。

注: スタディのインポートが完了しない場合は、[Import Summary (インポートの要約)] 画面で [Retry (再試行)] をクリックしてください。

スタディのエクスポート

解析済みのスタディは、メインスタディディレクトリから.zipファイルとしてエクスポートできます。

- 1. スタディをハイライトするか、Ctrl + Shift を使用してスタディのグループを選択します。
- 2. 右クリックして [Export (エクスポート)] を選択します。
- 3. [Configuration (構成)] > [Local Storage (ローカルストレージ)] タブをクリックしてファイル名をカス タマイズします。
- 4. 希望するファイルの属性を選択します(図 7)。

図 7. エクスポートするファイル名のパターン

DICOM Configuration Local Storage	Application Launch Permissions	Feature Licensing
	Disk Usage Warning Level	80%
C:\ProgramData\WeoSoft\suiteDX	ſ\Images\	Browse
	Maintenance	
Synchronize DB	Restart Service	
Auto Delete		
Disk Usage > 80 %		
Study is fully transferred t	o a DICOM destination	
	ExportSettings	
Export Filename Pattern		4
InstitutionPatient Name_Export Ti	mestamp	
Patient Name	Patient ID	Study Description
Accession	Study Date	Study ID
Export Timestamp	Institution	Referring Phys
		OK Cancel

検索の実行

並べ替えの有無に関わらず、各列を自動的に検索できます。検索では大文字と小文字を区別せず、結果が自動 的にリストの最上部に表示されます。

Patient Name	✓ Patient ID	Study Date	Transferred To	Delete Protected	Accession	Study ID	Referring Phys
🔍 Case	⇔						
SH Case 02	AW1696004290.551.1411990037	1/7/2011 8:40:42 AM		No		17610	
SH Case 03	AW1523419194.749.1411990120	5/20/2013 10:25:55 AM		No		2870	

- 最初の結果を取得した後、キーボードで ENTER キーを押すか、検索フィールドで矢印を押すと、次の結果に進めます。
- キーボードで ENTER と SHIFT キーを同時に押すと、前の結果が選択されます。
- 結果の最後まで到達した際にキーボードで SHIFT を押すかどうかに関わらず ENTER を押すと、検索結果の最初 に戻ります。
- を押すと、検索結果がクリアされます。
- **注**: 検索でフォルダをスタディリストに含めるには、フォルダを展開する必要があります。フォルダを右 クリックして [Expand All (すべて展開)] を選択します。

フォルダの作成

スタディリストレベルでスタディを整理するためにフォルダを作成できます。

- 1. [New Folder (新しいフォルダ)] をクリックします。
- 2. フォルダ名を入力して、[Save (保存)] をクリックします。

これでフォルダがスタディリストに表示されます。

New Folder			×
Enter new folder name:			
Cardiomyopathy Cases			
	Save	Close	
			<u></u>

- 3. スタディを右クリックして [Move to Folder (フォルダに移動)] を選択し、スタディをフォルダに移します。
- 4. フォルダのダイアログボックスが開いたら、スタディの移動先の正しいフォルダを選択します。

Study Folder Selectio	n	×					
Existing Folders	5	l					
🔁 #Cases							
#Workshop Cases 2020							
Cardiomyopath	ny Cases						
Move to:							
Cardiomyopathy Case	es						
Move	Move to Root	Cancel					
Studies to be move	ed						
#Case 31							

図 8. フォルダの選択

- 1. スタディをクリックして [Move to Folder (フォルダに移動)] を選択し、スタディをメインディレクトリ に戻します。
- 2. [Move to Root (ルートに移動)] をクリックします。

スタディの匿名化



注意:スタディを匿名化しても、他の後処理ソフトウェアで作成された画像の患者データは削除され ません。



注意: 匿名化されたスタディは、NeoSoft, LLCのアプリケーションのみで使用してください。

- 1. メイン画面で、匿名化したいスタディを選択します。
- 2. [Anonymize (匿名化)] を選択します。

図 9. 匿名化スタディ

- 3. 匿名化フィールドに入力します(図9)。
- 4. NeoSoft セカンダリキャプチャシリーズを含めない場合は、オプションの選択を解除します。
- 5. [Anonymize (匿名化)]をクリックします。

Anonymize Study	×
Anonymized Patient Name:	Append Date/Time
Anonymized Patient ID:	
L Anonymized Institution	
Anonymized Study Date:	
6/ 1/2021	Anonymize
✓ Include NeoSoft Secondary Capture Series	Allohymize

進捗状況インジケータが表示されます。新しく匿名化されたスタディがスタディリストに表示されます。

- 6. [Anonymize Study (スタディの匿名化)] ポップアップで [OK] をクリックします。
 - 注: 匿名化機能は、NeoSoft のサポート目的でご利用いただけます。

削除保護

スタディの削除保護を設定するには、スタディを右クリックして [Delete Protect (削除保護)] を選択しま す。インジケータ列に、保護されているスタディの場合は [Yes (はい)]、保護されていないスタディの場合 は [No (いいえ)] と表示されます (図 10)。削除保護をオフにするには、右クリックして [Remove Delete Protection (削除保護を解除)] を選択してください。

Patient Name 🔻	Patient ID	Study Date	Transferred To	Delete Protected	Accession	Study ID	Referrir
Q							
# FX Flow MDE T1 Philips	ANONYMOUS_20190422T150604_ID	12/4/2017 2:28:44 PM	CLINICALPACS	Yes		ANONYMIZED	
# T1/T2 Mapping Demo 5.0.2, 2020	ANONYMOUS_20200924T114035_ID	8/1/2017 7:43:11 AM		Yes			
#Amyloid T1 Mapping	ANONYMOUS_20200702T155040_ID	5/31/2017 8:36:41 AM		No		ANONYMIZED	
#Case 31	ANONYMOUS 20200702T090158 ID	6/21/2017 1:34:41 PM	CLINICALPACS	No		ANONYMIZED	

図 10. 削除保護列のインジケータ

ng Phys

スタディの削除



注意:ファイルシステムからデータを削除すると(現在開いているスタディのファイルも含まれます)、 解析/画像データが失われる可能性があります。

メイン画面で、削除したいスタディを選択し、[Delete (削除)] を選択するか、右クリックしてポップアップ メニューから [Delete (削除)] を選択します。「SHIFT + クリック」または「Ctrl + クリック」を使用すると、 リストから削除したいスタディを複数選択できます。

シリーズの削除

メイン画面でスタディを選択してからシリーズを選び、[Delete (削除)]を選択します。「SHIFT + クリック」 または「Ctrl + クリック」を使用すると、リストから複数のシリーズを選択することができます。

注:シリーズの削除は、解析を始める前に行うようお勧めします。

セカンダリキャプチャシリーズの削除

NeoSoft, LLCを製造元として認識しているセカンダリキャプチャシリーズは、削除できます。



注意:suiteHEART データシリーズを削除すると、あらゆる解析結果が削除されます。

1. スタディを選択し、suiteHEART DATA シリーズを見つけます。

2. シリーズ番号または + アイコンをクリックして [Series Details (シリーズの詳細)] ウィンドウを開きます。

Freed	Series # "	Images	Description	Modali	ty Manufacturer	Transferred To	Transferred Date	Ι
Sena	38	3	PS:2D PSMDE	MR	GE MEDICAL SYSTEMS	CLINICALPACS	10/12/2020 5:10:16 PM	
	39	104	14 Cal Body	MR	GE MEDICAL SYSTEMS	CLINICALPACS	10/12/2020 5:10:16 PM	
Delete	40	60	15 Ao(BCT) PC	MR	GE MEDICAL SYSTEMS	CLINICALPACS	10/12/2020 5:10:16 PM	
-	41	60	16 PA PC	MR	GE MEDICAL SYSTEMS	CLINICALPACS	10/12/2020 5:10:16 PM	
Show Preview	42	60	17 Ao PC	MR	GE MEDICAL SYSTEMS	CLINICALPACS	10/12/2020 5:10:16 PM	
	3814	2	suiteHEART DATA	MR	NeoSoft LLC			1
	3817	1	MAG:SSh PS MDE SPGR 2RR BH Normal HR	MR	NeoSoft LLC			Γ
	3818		PS:SSh PS MDE SPGR 2RR BH Normal HR	MR	NeoSoft LLC			

3. 適切な行を選択して、[Delete (削除)] をクリックします。閉じるには、X (ウィンドウの右上隅) をクリックするか、[Close (閉じる)] をクリックしてください。

図 12. シリーズの詳細

図 11. シリーズの選択

SOP Instance UID	Date	Number 🔻		
1.2.826.0.1.3680043.9.1400.5.1602616619.124	10/13/2020 2:16:59 PM	1		
1.2.826.0.1.3680043.9.1400.2.1602616693.514	10/13/2020 2:18:13 PM	2		
				_
			Delete	d

suiteDXT の概要

メイン画面で [About (概要)] を選択すると、suiteDXT のソフトウェアバージョンが表示されます。 [Instructions for Use (使用説明書)] リンクをクリックして、使用説明書 (IFU) を起動します。 [DICOM Conformance Statement (DICOM 適合声明書)] リンクをクリックして、DICOM 適合声明書を起動します。

- 注:これらの文書を開くには、PDFリーダーが必要です。
- **注:** [Archive log files for Support (サポート用ログファイルのアーカイブ)] をクリックすると、サービ ス部門がトラブルシューティングで使用するファイルを作成できます。



スタディの前処理

注: このセクションは、NeoSoft CAKE™ アプリケーションには適用されません。

スタディの前処理機能は、suiteHEART® ソフトウェアアプリケーションでのみ利用できます。この機能では、 機能、血流、心筋評価、T1マッピングおよびT2マッピングの前処理を行うことができます。前処理は、 Virtual Fellow®機能と組み合わせて使用できます。

注:前処理を完了するには、suiteDXTが開いた状態で実行中でなくてはなりません。

注:ハードウェアが最低システム要件を満たさない場合、前処理は無効になります。

前処理の構成

- 1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。
- [Application Launch (アプリケーション起動)] タブを選 択します。
- それぞれのアプリケーションのタイプの [Enable Auto Detection (自動検出を有効にする)] にチェックを入れます。
 - 注:シリーズ名を定義すると、自動検出を無効にすることができます。以下の「シリーズの説明を定義する」を 参照してください。
- T1 マッピングおよび T2 マッピングでは、時間シリーズか マップのシリーズタイプを選択してください。
- 5. 画像を最適化するには、[Enable Virtual Fellow[®] (Virtual Fellow[®] を有効にする)] にチェックを入れます。
- バックグラウンドでの処理実行中のスタディ起動を有効にするには、[Auto Update(自動更新)]にチェックを入れます。
- 7. [OK] をクリックします。

シリーズの説明を定義する

- 1. メイン画面でスタディペインからスタディを選択します。
- 2. シリーズペインからシリーズを選択します。
- 3. シリーズ名を右クリックし、そのシリーズに適した解析タイプを選択します。
 - シリーズ名は、[Application Launch (アプリケーション起動)]タブに自動的に入力されます。

AOPC VENCIOU			MIK	GE MEDICAL STSTEM
SAx Fiesta	Guid		MR	GE MEDICAL SYSTEM
PA PC VEnc15	Delete		MR	GE MEDICAL SYSTEM
MDE 200 225	Details		MR	GE MEDICAL SYSTEM
SAX MDE	Configure Preprocess	>	Functio	n
			Flow	>
			Myocar	rdial Evaluation
			T1 Map	ping
			T2 Map	ping

4. 他のすべてのシリーズタイプでも繰り返します。

Configuration
DICOM Configuration Local Storage Application Launch Permissions Feature Licensing
Applications
Description Launch Command
suiteHEART C:\Program Files\NeoSoft\suiteHEART\suiteHEART.exe
Add Edit Delete
Preprocessing
Function Flow Myocardial Evaluation T1 Mapping T2 Mapping
Function Series Description
Enable Auto Detection
Enable Virtual Fellow® Auto Update
OV Care

前処理の使用

前処理は、別の DICOM ノードから suiteDXT に直接送信/プッシュされている心臓 MRI スタディで実行できます。 注: 自動更新が有効である場合、バックグラウンドで処理の実行中にもスタディを起動することができます。

前処理は以下の手順で開始することができます。

スタディペイン

- 1. スタディペインから患者を選択します。
- 2. メニューで [Preprocess (前処理)] を右クリックして選択します。

Send Study	>	Scan 1	6/1
Export Study		Cardiac	4/1
Preprocess	>	All	
Delete Protect		Function	
Set Origin		Flow	
Unlock		Myocardial Evaluation	
Delete		T1 Mapping	
Move to Folder		T2 Mapping	
Open Study Location		Remove from Preprocessing Queue	

問合せ/検索ウィンドウ

「はじめに」と「suiteDXTの使用」の問合せ/検索セクションを参照してください。

suiteDXT に送信される DICOM ノード

1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。

-Launch Application	l	Study Filter					_
suiteHEART	Launch	AI I	Refresh			Configurat	ion
Studies: 338	- 1L						
End	Patient Name	 Study Date 	Patient ID	Study Description	Accession	Study ID	Modality
FILO	Case 44, 20180922T153755	11/29/2017 9:36:20 AM	ANONYMOUS_20180	Cardiac		ANONYMIZED	MR

- 2. DICOM の構成を選択します。
- 3. DICOM ノードを選択して、[Edit (編集)] をクリックします。
- 4. [Preprocessing (前処理)]を選択します。
- 5. [OK] をクリックします。

DICOM Device Confi	guration		×
Local AE Title: Description	EARTHCC PACSA	Enabled	
AE Title Address	PACSA 155.2.2.2	Store to device Query device	2
Port	4006]	
	DICOM Echo	OK	Cancel

[Preprocessing (前処理)] にチェックが入っており、前処理が構成されている場合は、[Preprocessing: ON (前処理:オン)]のインジケータが ステータスパネルに表示されます。

Preprocessing : On Virtual Fellow® : On Disk Usage 25.26%

スタディペインのインジケータ

インジケータ	ステータス
水色の円	スタディは前処理中です。
紺色の円	スタディはキューに入っています。
緑色の円	前処理は完了しました。スタディを開くか、suiteDXT を再起動するまでインジケータはそのまま残ります。
赤い円	前処理に失敗しました。NeoSoft にメール (service@neosoftmedical.com) で連絡してください

Find	Patient Name 👻	Patient ID	Study Date
100	Q		
Send	#Case 31 #Cases (10)	ANONYMOUS_20200702T090158_ID	6/21/2017 1:34
	#Infarct/MVO T1 Mapping , 202010	ANONYMOUS_20201002T171321_ID	8/1/2017 7:43:
Import	#Myocarditis T1 Mapping	ANONYMOUS_20200702T114314_ID	1/8/2020 9:17:
	#Normal	ANONYMOUS_20190430T074604_ID	4/18/2019 9:50

Virtual Fellow®

Virtual Fellow® のオン/オフ

suiteDXT のメイン画面で構成をクリックし、[Application Launch (アプリケーション起動)] タブを選択します。 [Enable Virtual Fellow® (Virtual Fellow® を有効にする)] をチェックして画像を最適化します。

X 1. s	suiteDXT	構成画面
---------------	----------	------

Configuration				×
DICOM Configuration Local S	orage Application Launch	Permissions F	Feature Licensing	
	Applicatio	ns		
Description	Launch Command			
suiteHEART	C:\Program Files\NeoS	Soft\suiteHEAR	RT\suiteHEART.exe	
Add	Edit		Delete	
	Preprocess	sina		
Function Flow Myoca	dial Evaluation T1 Mapping	T2 Mapping		
Function Series	Description			
	🔽 Enable Auto	Detection		
	Auto U	poate		
			ОК	Cancel

画像プレビューウィンドウ



警告: 画像は診断や治療には適していません。

suiteDXT のメイン画面からプレビューウィンドウをトグルして表示または非表示にできます。

注: 選択したスタディに suiteHEART Virtual Fellow[®]、CAS シネ、CAS レポートシリーズが含まれている場合、これらのシリーズは 自動的にプレビューウィンドウに表示されます (図 2)。

~	Launch	A	R	rfreh					
Patient	Name	v	Patient ID	Study I	Date Transferred	То	-312	1	16
🗧 #Case 3	1		ANONYMOUS_20200702T090158_ID	6/21/2	017 1:34:41 PM 🛛 🔵 CLINIO	ALPACS			
- #Ca	ses (10)						$+\epsilon Q T$		
Finfarct	MWO 11 M	apping , 202010	ANONYMOUS_202010021171321_ID	8/1/20	17 //48/11 AM		12:00	State All and	
#Myoci	indicis II Ma	pping	ANONYMOUS_2020/021114514_ID	100/20	00 YET (300 AM		and the second second	100 m	10
#Norm	al TiMennin	-	ANONYMOUS 2019045010/4004_ID	1/22/2	010 30300 PM	A ST	- 10m	- Town	in the second
#Realting	ne Semens	9 20190425T173924	ANONYMOUS 201904257173924 ID	1/28/2	115 11-39-35 PM	1000		Nº CO	1. 1. 1.
#STR/R	EST. 2018070	2T111953	ANONYMOUS 20180702T111953 ID	7/18/2	014 10:56:14 AM	2			
= #W	orkshop Cas	es 2020 (61)				1296	1250	1:20	1 1 1 1 1
*Q FLO	N		м	4/27/2	017 1:13:05 PM				
01 4D F	ow Secundu	im ASD, 201705	ANONYMOUS_20170512T142618_ID	1/20/2	016 4:00:12 PM		- <u>~</u> 1	1 han -	- ウー
01 ALL	MODES, 201	71113T162436	ANONYMOUS_20171113T162436_ID	9/14/2	017 11:14:55 AM				・ ソ 😭
01 AS 0	9, 20170131	1090646	ANONYMOUS_20170131T090646_ID	4/29/2	014 12:18:01 PM	A.S.A.A		ノドウ	
01.DEM	O MILO SA		AMONIVATORIS 201512077005222 ID	17/16/	2012 10.28-28 AM				
10.00									
Series # *	Images	Description		Modality	Manufacturer	- 194 D	1	1.10	
38	3	PS:20 PSMDE		MR	GE MEDICAL SYSTEMS				
39	104	14 Cal Body		MR	GE MEDICAL SYSTEMS		Ale		
40	60	15 AD(BCT) PC		MR	CEMEDICAL SYSTEMS	· · · · ·	VESSIL.	R. Contractor	See See S
	60	17 An PC		MP	GE MEDICAL SYSTEMS	10000		and the	100 PM
	120	FAT AC AVE AV	A	MR	GE MEDICAL SYSTEMS				
3400	16	MAG SSh RS M	DE SPIGR 2BR RH Normal HR	MR	GEMEDICAL SYSTEMS		ALC: NO	1000	
3400		MAGOD DEMD		MR	GE MEDICAL SYSTEMS		1000	Contract No.	
3400 3700 3800	3	NUMBER PROFILE	the second second second second	MR	NeoSoft LLC		10 B	Ale Carton	
3400 3700 3800 (3) 3813	3	PS:SSh PS MDE	SPGR 2RR BH Normal HR				1		A REAL PROPERTY AND A REAL
3700 3800 () 3813 () 3814	3 1 1	PS:SSh PS MDE MAG:SSh PS M	SPGR 2RR BH Normal HR DE SPGR 2RR BH Normal HR	MR	NeoSoft LLC				
3700 3800 () 3813 () 3814 41 3815	3 1 1 20	PS:SSh PS MDE MAG:SSh PS M SAx Fiesta	SPGR 2RR BH Normal HR DE SPGR 2RR BH Normal HR	MR	NeoSoft LLC NeoSoft LLC	シネ	コン	トロー	・ル
2 3400 3700 3800 (1) 3813 (2) 3814 (1) 3815 (1) 3815 (1) 3816	3 1 1 20 1	PS:SSh PS MDE MAG:SSh PS MDE SAx Fiesta suiteHEART DA	SPGR 2RR BH Normal HR DE SPGR 2RR BH Normal HR IA	MR MR MR	NeoSoft LLC NeoSoft LLC NeoSoft LLC	シネ	コン	トロー	ール

サービスとサポート

DICOM ネットワーク機能不全

検索でスタディを転送できない場合は、ファイアウォールが転送を妨げていないか確認してください。ファイ アウォールに問題がない場合は、suiteDXT がリモートホストで DICOM エコーを実行でき、リモートホストが suiteDXT で DICOM エコーを実行できるかチェックします。

- 1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。
- 2. [DICOM Configuration (DICOM 構成)] タブで、検索を試みたリモートホストを選択し、[Edit (編集)] を 選択します。
- 3. 以下のチェックボックスを選択します: [Enable (有効)]、[Store to device (デバイスに格納)]、[Query device (デバイスの問合せ)]。
- 4. DICOM 転送先の IP アドレス、ポート、AE タイトルが正しいことを確認します。

図1. DICOM 構成ウィンドウ

Local AE Title:	EARTHCC		
Description	PACSA	🗹 Enabled	
AE Title	PACSA	Store to d	evice
Address	155.2.2.2	Query dev Query dev Preproces	vice sing
Port	4006		
	DICOM Echo	ОК	Cancel
			<u>.</u>

- 5. [DICOM Echo (DICOM エコー)]を選択します。
- 6. ネットワークの設定をチェックし、選択したポートが開いており、suiteDXTホストでアクセスできることを確認します。
- 7. スタディを再び検索します。

上記の手順を行っても再び検索に失敗する場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。

スタディ起動エラー

スタディを起動しようとした際に [The following studies are locked and will not be loaded in the launch (以 下のスタディはロックされており、起動で読み込むことはできません)] というメッセージが表示されたら、 以下を行ってください。

- 1. suiteDXT スタディディレクトリに移動します。
- 2. エラーメッセージが出たスタディを右クリックします。
- 3. [Unlock (ロック解除)] を選択します。

図2. スタディのロック解除

Send Study	>
Export Study	
Preprocess	>
Delete Protect	
Set Origin	
Unlock	
Delete	
Move to Folder	
Open Study Location	

サービスの再起動

ネットワークの機能不全が続く場合は、suiteDXT DICOM サービスを再起動できます。

- 1. メイン画面で [Configuration (構成)] を選択します。
- 2. [Local Storage (ローカルストレージ)] タブを選択します。
- 3. [Restart Service (サービスの再起動)] をクリックします。

义	3.	サー	ビス	の再済	起動
---	----	----	----	-----	----

Configuration		×
DICOM Configuration Local Storage	Application Launch Permission:	s Feature Licensing
		90%
	•	00%
C:\ProgramData\WeoSoft\suiteDX	T\Images\	Browse
	Maintenance	-
Synchronize DB	Restart Service	
Auto Delete		
Disk Usage > 80 %		Time 12 00 AM 🖵
Study is fully transferred t	o a DICOM destination	
Export Filename Pattern	Export Settings	
Patient Name_Export Timestamp	18.	
Patient Name	Patient ID	Study Description
Accession	Study Date	Study ID
Export Timestamp	Institution	Referring Phys
		OK Cancel

お問い合わせ

suiteDXT のインストールまたは使用中に問題が発生した場合は、Soft, LLC サービスまでご連絡ください (service@NeoSoftmedical.com)。